

重要：乾燥について、及び無垢材の楽器について

無垢材を使った楽器は湿度に気をつけなければいけないことを、多くの方はご存知でしょう。その一方で、具体的にどのようなことな気をつければよいのかは、あまり知られていません。もしお客様がそのように感じているのであれば、以下を読み、楽器を乾燥による故障から護りましょう。

- ・無垢材に適した湿度は 40%～50%です。40%以下になると乾燥によって割れを生じる危険があり、低くなるほどその危険は高まります。木は環境中の空気との関わりで水分を放出したり吸収したりするため、湿度 40%以下であれば木が収縮します。収縮が大きければ、割れることもあります。

- ・湿度は気温と関わりがあります。温度が高ければ多くの水分を含むことができますし、温度が低ければ含むことのできる水分量は少なくなります。相対湿度とは、ある温度の空気中に含むことができる最大限の水分量（飽和水蒸気量）に対してどの程度の水分を含んでいるかを示し、%RH で表します。一般的な湿度とは相対湿度のことです。最も割れやすいのは冬の寒い時期です。冷たい外気は湿気を含むことができませんから、室内に楽器を運んだ際に、熱源のそばで楽器を温めると、RH は急激に低下します。外気の気温が 4℃、湿度が 65%だったとしましょう。その空気が 20%まで暖められたとき、RH は 24%まで低下します。冬季は多くの地域でこの例よりも乾燥しており、それだけ危険性が高まります。

- ・長期にわたって楽器が乾燥していると、割れが起こる危険性は増します。RH が低い環境下では、反響板や背板のような薄い木部は数日で、厚い木部でも数ヶ月で収縮が始まります。木部パーツはそれぞれ異なるので、楽器にどんな変化が起こるかは予測不可能です。まったく加湿しなくても何の問題も起きないかもしれませんが、同じ環境下であっても割れるものと割れないものがあるかもしれません。RH40%以下の環境では無垢材の楽器がストレスにさらされていることは確かなのですが、何かが起こるとも起こらないとも約束することはできません。ですが、適切に管理された木製品で 40%以上の湿度であれば乾燥による割れは起きないので、ご安心ください。

- ・楽器製造業界では一般的に乾燥による割れは保証の対象外となります。楽器を製造する際に、ひび割れ防ぐために楽器職人ができる手段は、可能な限り適切に管理した木材を使うことのみです（プラスチック製品を除く）。当社の楽器は適切な水分量になるまでよく乾燥させた木材を使用しています。楽器の所有が当社からお客様に移った時点で、その環境にまで当社が責任を負うことができません。当社としては、お客様の修理に関するご質問に対してはサポートいたします。

- ・湿度管理の最高の方法は、湿度を 40%～50%に保ったお部屋またはお家を利用することです。それが非現実的なのであれば、代案は加湿器を入れた楽器ケースを利用することです。後者の場合は定期的な湿度検査と加湿器の交換が必要となります。加湿器は当社または楽器店で購入することができます。

- ・乾燥による問題を避ける唯一の確実な方法は、品質の良い湿度計で定期的に湿度を測ることです。湿度計は当社のホームページまたは地域の楽器店でお探しになれます。

- ・乾燥した気候の屋外に楽器を持ち出してもかまいません。数時間であれば、楽器を傷めることはありません。演奏後に適切な湿度の環境に楽器を戻してください。

以上